

龍城ヶ丘ゾーン公園整備事業に係るマーケットサウンディング

結果概要

平成30年2月

平塚市

1. マーケットサウンディングの開催概要

(1) 調査の実施経過

本調査の実施経過は以下のとおりです。

日付	内容
平成29年11月2日(木)	サウンディング実施要領等の公表
平成29年11月14日(火)	説明会及び現地見学会の実施
平成29年11月2日(木)～11月15日(水)	参加申込受付期間
平成29年12月6日(水)	提案書提出期日
平成29年12月12日(火)～14日(木)	対話の実施

(2) 参加事業者数

本調査には、12グループ(29事業者)の参加がありました。

2. 提案・対話の概要

(1) 事業のコンセプト

- 多様な世代の居住・交流、地域の文化・情報発信、地産地消、海辺を活かしたスポーツアクティビティ・レクリエーションといったコンセプトに基づく提案がありました。

(2) 事業の内容

- 公募対象公園施設について、ほぼ全ての事業者から、レストラン・カフェ等の飲食店舗や地域産品・アウトドア関連等の物販店舗の提案がありました。その他、健康増進施設やスポーツ施設、体験学習施設、駐車場等の提案がありました。
- 特定公園施設について、多くの事業者から、散策路や多目的広場、芝生広場等の提案がありました。また、スポーツ施設や駐車場を特定公園施設として整備するとの提案も見られました。
- 多くの事業者から、特定公園施設の整備範囲を対象地全体の30,000㎡とすることにより、建築面積1,000～3,000㎡程度の公募対象公園施設を設置する提案がありました。
- 予想来園者数については年間10万人～120万人とばらつきがありましたが、来場のしやすさから国道134号線における交差点改良(右折レーンの設置)が望ましいとする意見が多く見られました。

(3) 事業実施条件

- 事業方式については、多くの事業者からP-PFIによる特定公園施設の整備及び公募対象公園施設の整備・運営が妥当との見解が示されました。

- 特定公園施設の運営維持管理については、民間事業者が指定管理者として一体的に行うとの提案もありました。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック前後における整備費の変動については変わらないとの意見が多くみられました。一方で、資材・人材の供給不足や交差点改良に必要な警察協議等により、オリンピックまでに開業することは難しいとする意見も一部ありました。
- 既存プール施設の除却については、多くの事業者が市の費用負担による実施を希望しました。

(4) 津波発生時の避難の考え方

- 津波避難タワーについては、多くの事業者が必要との見解を示しましたが、想定される整備区域全体が津波浸水区域外まで徒歩数分で移動できる範囲に納まっていることから、タワーの単独整備は不要とする意見もありました。
- また、店舗の屋上を活用する提案や、平常時は展望施設として活用する提案も見られました。

(5) 周辺地域との連携、地域経済への貢献の考え方

- 周辺地域住民の方から親しまれ利用される施設とする意向が多くありました。
- 周辺地域との連携については、ほぼ全ての事業者が地元企業との連携を重視しており、市による地元テナント候補とのマッチングの機会を活用したいとの意向を示しました。
- 地域経済への貢献としては、地元人材のスタッフ採用、建設や維持管理を地元業者に発注することや、地元産品を使用したカフェ・レストランなどの意見がありました。

3. 連絡先

平塚市市役所 都市整備部みどり公園・水辺課 公園整備担当

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 Mail: midori@city.hiratsuka.kanagawa.jp